

◆ 2018年度助成校・団体の活動紹介

2019年11月に訪問した学校・団体の実践を紹介します。

日産財団ニュースレター (第56号)

2020年1月発行



公益財団法人

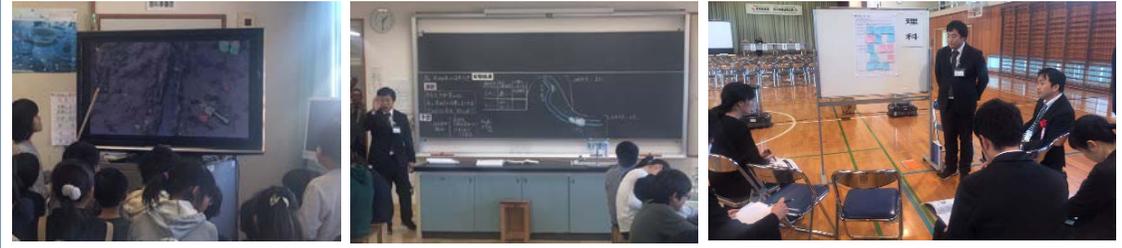
日産財団
NISSAN GLOBAL FOUNDATION

福島県 会津若松市立川南小学校



3年生総合・理科「大好き！川南」の授業風景。児童たちは、春から学校周辺の自然環境を観察し、カメラで記録しており、本時では各班で作成したプレゼン資料を使って、発見した昆虫の種類や季節の変化に伴う植物の色の変容などを発表している(写真左・中央)。最後に川南の自然を守るために自分達ができることを考え、クラスで共有し合っている(写真右)。

福島県 塙町立塙小学校



研究公開における5年生理科「流れる水のはたらき」の公開授業と協議会の様子。まず前時のモデルの山を使った実験動画をクラス全体で振り返り、上流と下流における水のはたらきの違いについて意見を共有している(写真左)。授業後半では、「なぜ流れが緩やかな川下の川岸に土は溜まるのか」について、児童それぞれ意見を発表している(写真中央)。協議会では、今後の授業の改善点について、授業者・指導主事・参観者で意見交換がされた(写真右)。

栃木県 足利市立毛野南小学校



校内指導法研究会での研究授業「ものの溶け方」の様子。まず物が水に溶ける様子を各チームで観察しながら同時にタブレット端末にて動画を撮影した。次に、各チームにて「物が水に溶ける」ということはどういう事なのかホワイトボードに意見をまとめ発表した。最後に教諭が児童を前に集合させ、同一の意見をまとめ全体の意見を集約しながら本時の振り返りを行った。

神奈川県 平塚市立金田小学校



6年生の総合的な学習の時間「金田池レスキュー隊」。6年3組の児童が金田池レスキュー隊となり、校内に古くからある金田池を、びしょぬれになりながらバケツリレーで水を入替えた。そのバケツリレーの様子や、池に生息していたフナやメダカ、プランクトンなどの生態を調査し、壁新聞や大型モニターで紹介した。生物観察コーナーでは、フナやメダカなどの他、メダカの卵やプランクトンなど肉眼では見づらいものを、モバイル顕微鏡を使って、説明していた。

福岡県 北九州市立木屋瀬小学校



5年生「流れる水のはたらき」の授業。川の上流と下流の石の様子はどのように違うのだろうか。大きな石が水の中で削られて小さくなるからと予想する子。大きな石は上流に残り小さな石だけが下流に流された予想する子。水の中で石が削られる現象を再現するために、上半分をカットしたペットボトルに、水とオアシス(生け花用スポンジ)を入れて50回シェイクし、オアシスが徐々に削られて形を変えていく様子を観察し、iPadに記録してグループで話し合った。

神奈川県 大磯町立国府中学校



校内指導研究会での研究授業「化学変化と原子・分子」の様子。鉄と硫黄を加熱し反応前後の物質の性質が変化しているのかを調べる実験を行った。その際、タブレットの録画再生機能を活用することでより細かな観察を行うことが出来ていた。最後に結果を各自プリントにまとめ良い例をモニターに見せることで本時のまとめを行った。尚、全体的な特徴としてパワーポイントのスライドを効率的に利用していた。